

# いい容器は、地球が教えてくれました。

有限会社 折秋  
オリ アキ

外食に求められるものは、安全。

地球環境に配慮することからスタートした容器の発想も、  
自然素材を選択したら、「子供たちにも安心して使える容器」になりました。

環境ホルモン、自然保護、そしてコストパフォーマンス。

すべての解決は自然体に戻る勇気を持つことでした。

世界に豊富な葦を素材にして、温かみのあるいい容器ができました。

からだに安全な容器です。

葦(非木材)を使って、自然保護に貢献しています。

電子レンジ対応も可能です。

リサイクルも可能。土に還る素材ですから焼却、廃棄も安心です。

おすすめする用途 (弁当BOXに関しては、  
弁当専用カタログをご覧ください。)

- ▶ 生鮮食品容器
- ▶ 惣菜トレー
- ▶ 弁当ボックスの中仕切り
- ▶ ファーストフード用容器



## 分析試験成績書

媒体名 パルプモールド (MP-1) 財団法人 日本食品分析センター

2004年(平成16年)04月26日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

### 分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
PCB	検出せず	0.1 ppm	1	ガスクロマトグラフ法
溶出試験				
重金属 (Pbとして) (溶媒: 4V/V%酢酸)	検出せず	1 $\mu$ g/ml		硫化ナトリウム比色法
ホルムアルデヒド (溶媒: 水)	検出せず	0.5 $\mu$ g/ml		アセチルアセトン吸光度法
フェノール類(フェノールとして) (溶媒: 水)	検出せず	0.5 $\mu$ g/ml		4-アミノアゾビリン吸光度法
カドミウム (溶媒: 4V/V%酢酸)	検出せず	0.005 $\mu$ g/ml		原子吸光度法
鉛 (溶媒: 4V/V%酢酸)	検出せず	0.05 $\mu$ g/ml		原子吸光度法
蛍光物質	検出せず		2	

注1. 溶出条件: 表面積1cm<sup>2</sup>当たり2mlの溶媒を用い、60℃で30分間浸漬溶出  
注2. 蛍光物質を使用した器具または容器包装の検査法について(昭和46年環食第244号、平成16年食安基発第0107001号及び食安監発第0107001号)によった。